

令和2年度第12回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和3年2月16日（火）15:30～16:15 評議会室

出席者：廣川理事長、青木副理事長、倉茂理事、山根理事、高橋理事、
林理事、木村理事、山本監事、元永監事

事務局：八里事務局次長、山田総務課長、高木財務課長、小椋経営企画課長、
武田学生・就職支援課長、郡田教務課長、土淵地域連携・研究支援課長、
塚本参事、杉田課長補佐、吉田主幹

令和2年度第11回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は原案のとおり承認された

議題

（審議事項）

1 令和3年度計画（素案）について

小椋経営企画課長より資料に基づき説明があり、意見交換が行われた。今後、必要な修正等を行い、3月開催の役員会で審議の上決定し、県へ提出する予定であるとの説明があった。

〔主な意見・質疑等〕

- ・新型コロナウイルス感染症が収束しても、オンラインによる講義は一定残っていくことが見込まれるため、オンラインによる講義をどう位置付けるのかについて研究が必要と考えている。オンライン学習への取り組みを盛り込むことを希望したい。

→オンライン講義の良い面は残していきたいと考えている。ネットワーク環境の整備も進めているところであり、積極的に取り組んでいきたい。

- ・計画の項目に、PDCAサイクルの体系化が位置づけられているが、中期計画のPDCAを考えた場合、目標の進捗状況を把握したうえで次年度の計画を検討しないと、PDCAが回っていることにならないのではないかと。

また、新型コロナウイルス感染症への対応やオンライン講義の実施のように中期計画策定時に想定していなかった事項について、新たに目標設定するのか。大学経営の観点から、PDCAを中期計画の中でしっかり回していくように運営いただいた方が良いと考える。

→別途、中期計画の進捗状況の確認は行っており、それを意識して計画案を作成しているところだが、進捗状況をどのようにお示しするのかについては考えてみたい。

新型コロナウイルス感染症への対応等の中期計画への位置づけについても議論したが、中期計画そのものを変更しないとうまく

盛り込めないものがあるため、新型コロナウイルス感染症に関することは、別枠でまとめたいと考えているところ。

- ・ 教教分離により設置する研究院の運営等に関する目標は定めないのでか。
 - 1年遅れとはなるが、教教分離が実施されることになり、教教分離に関する計画については、一旦ここで終了するものと考えている。研究院の運営等について計画として位置付けてはいないが、今後、十分議論を行い目標設定できるよう取り組んでいきたい。

2 団体役員賠償責任保険について

山田総務課長より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

(報告事項)

- 1 令和3年度学校推薦型選抜等特別選抜試験の合格状況について
郡田教務課長から、資料に基づき報告があった。
- 2 令和2年度学位記授与式の実施について
武田学生・就職支援課長から、資料に基づき報告があった。
- 3 令和3年度入学式の実施について
山田総務課長から、資料に基づき報告があった。
- 4 令和3年度会議開催予定表について
山田総務課長から、資料に基づき報告があった。
- 5 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対応について
青木副理事長から、資料に基づき報告があった。

(その他)

廣川理事長から、木村理事が今年度末をもってご退任される旨報告があった。